

経営科学

フューチャーデザイン

M41 Bクラス9グループ

奥山 新 :81830104

徐 晓婷 :81830355

張 迎 :81830578

川畑 健 :81830199

ジャー ダオ :81830396

奈良井 優人 :81830762

駒野谷 瑛俊 :81830292

徐 安倩 :81830418

西崎 裕一郎 :81830788

目次

1. フューチャーデザインの必要性
2. 社会的正義 ロールズ「無知のヴェール」
3. 世代間持続可能性ジレンマゲーム
4. 我々のフューチャーデザイン
 - I. 現在の民主主義・市場主義の問題点
 - II. 将来省の作成
 - III. 将来省の人材
 - IV. 育成投票方法(政治家、将来省などの)
 - V. 問題点
5. 結論

フューチャーデザインの必要性

『地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたものだ。』

—サン・テグジュペリ

1900-1944

作品:



写真:



フューチャーデザインとは？

将来可能性の創造

現在の利得が減るとしても、これが将来世代を豊かにするのなら、この意思決定、行動、さらにはそのように考えることそのものが人をより幸福にするという性質



人の「**将来可能性**」を生む社会の**仕組みのデザインとその実践**はフューチャーデザイン



オピニオン#30 西條先生 2016/3/14

将来世代になりきって考えれば
将来世代から奪うのをやめることができます

一橋大学 経済研究所教授

西條辰義氏

現在の民主主義・市場主義の問題点

社会の発展を支える根幹は、経済面の「市場」と政治面の「民主制」である

BUT...

市場は「人々の短期的な欲望を実現する非常に優秀な仕組み」ではあるものの、「将来世代を考慮に入れ資源配分をする仕組み」ではない

—Krutilla



民主制は「現在生きる人々の利益を実現する仕組み」であり、「将来世代を考慮し込む仕組み」ではない

—Pigou



既存の社会学との関係

現在の社会学

		社会制度	
		固定	変数
人々の選好	固定	伝統的 sociology	
	変数	フューチャー アース	FD
		メカニズム デザイン	



目指すべき社会学

		社会制度	
		固定	変数
人々の選好	固定	伝統的 sociology	メカニズム デザイン
	変数	フューチャー アース	フューチャー デザイン

西條 辰義

ロールズの無知のベール

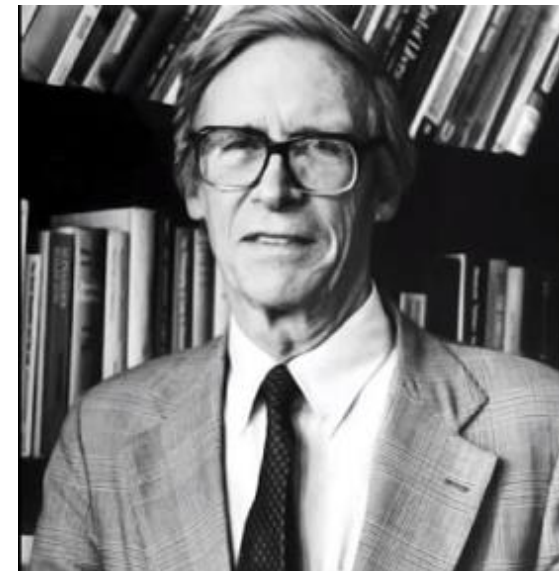
- 「無知のベール」とは、自身の位置や立場について全く知らずにいる状態にし自身の利益に基づいて意思決定を防ぐための装置。それを通じて、社会全体の利益に向けた正義の原則を見いだせるようになる。

無知のヴェール無

	将 来		
現 在	(3, 0)	(2, 2)	(0, 3)

無知のヴェール有

	将 来		
現 在	(3, 0)	(2, 2)	(0, 3)



ジョン・ロールズ 1921-2002

世代間持続可能性ジレンマゲーム

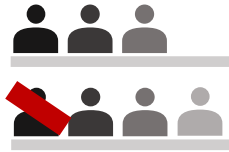
ルール:

- 家族三人で一世代。

➢ G1: 爺、父、子

➢ G2: ~~爺~~、父、子、孫

⋮

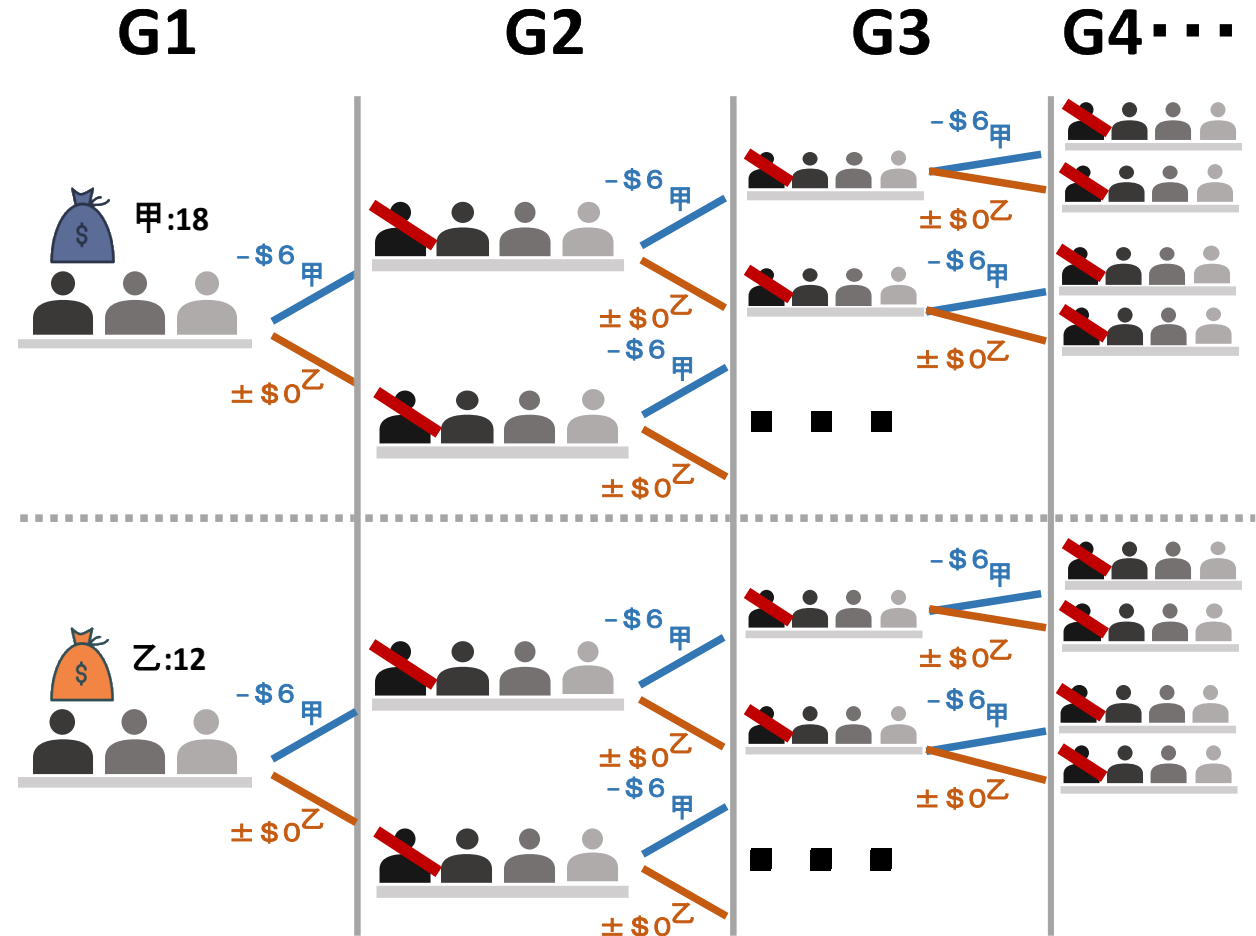


- 世代の意思決定: 三人で話し合いをし、**甲**(18ドル)か**乙**(12ドル)かを選択する。

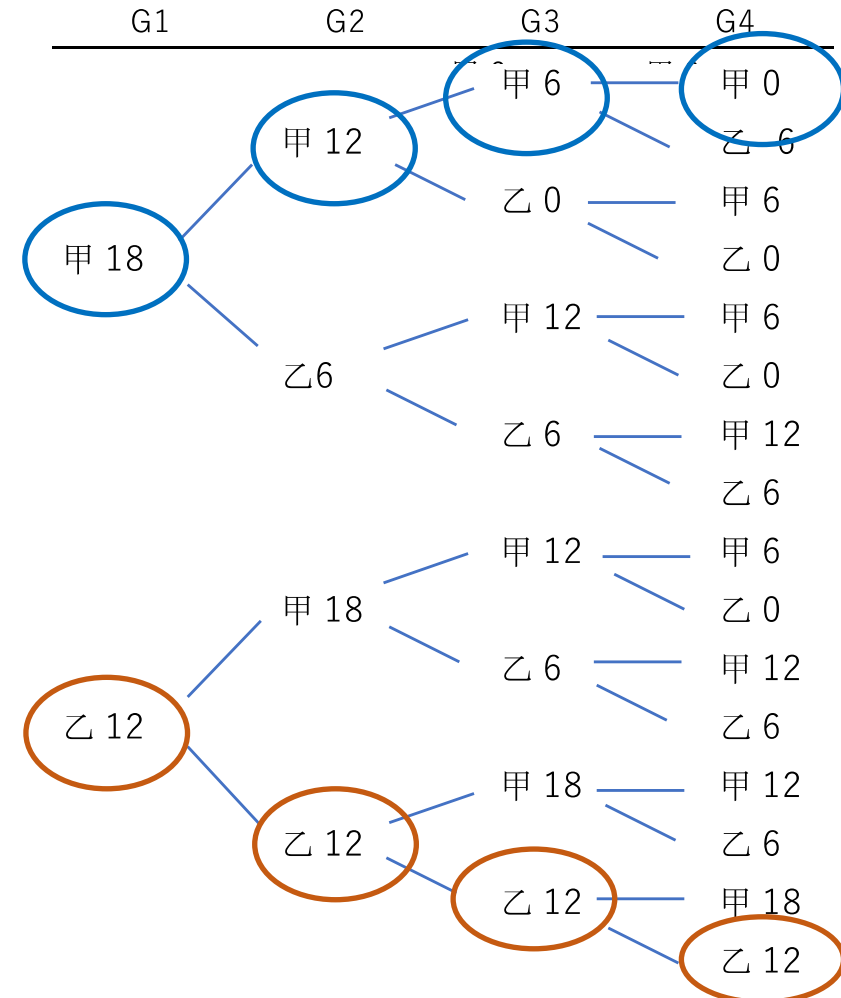
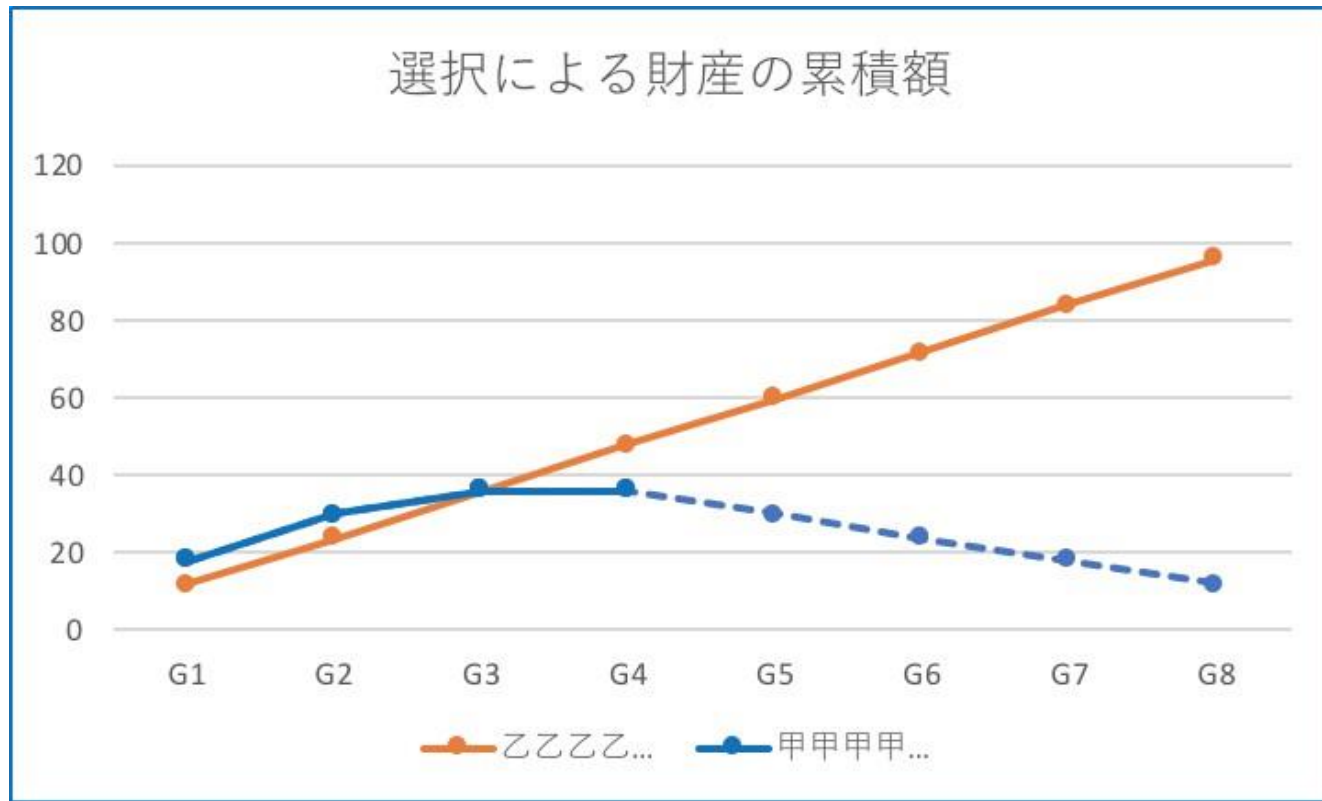
➢ **甲** → 次の世代の甲も乙も各々**6ドル減少**

➢ **乙** → 次の世代の甲も乙も**変化なし**

- 次の世代の3人も同じ意思決定。前の世代の意思決定を**みることは可能**。



世代間持続可能性ジレンマゲーム



フューチャーデザインにおける政治体制

1. フューチャーデザインに基づく制度
2. 将来省とは？
3. 将来省の人材、役割と権限
4. 現在の投票方法
5. 将来省大臣の選出
6. 日本国憲法第11条
7. 将来省設置に関しての問題点
8. 将来世代に対する配慮の可能性

フューチャーデザインに基づく制度

- 政治家 民意の優先順位を決定
- 官庁 政治家の判断材料となる情報提供

→政治家は選挙により選ばれる。

→**将来世代**が現世代に存在していない。

→選挙により**将来世代**の代弁者が選出されることはない。

将来世代のことを考える**将来省**を作成する必要がある。

将来省とは？

- 「将来世代の存在を私たちが現世代の社会生活に取り込むという役割を果たし持続性のある人類を築く」を理念とする省庁。

将来省

	既存の省庁			
	財務省	経済省	国交省	総務省	
環境保護					
長期的安定的経済					
文化保護					
長期安定的資源・エネルギー					
高度かつ安全な技術・制度					
その他					

フューチャー・デザイン 七世代先を見据えた社会 西條辰義

将来学と将来学会

- 将来学

環境、経済、文化、資源・エネルギーおよび技術・制度に関わる専門家の育成

将来学部、フューチャーデザイン研究科、大学院修士課程

- 将来学会

将来世代の利害、現世代への影響を考える。そのために情報収集および分析により、各省庁に対して意見を述べる。

現在の日本での投票方法

- 第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。
- 第14条 すべて国民は、法の下に平等であつて、人種、信条、性別、社会的身分又は門地により、政治的、経済的又は社会的関係において、差別されない。

→ **一人一票**

将来省大臣の選出と位置づけ

①投票権

18～39歳または39歳以下の直系卑属を有する日本国民
(理由: 39歳は現在の平均寿命の半分以下)

②拒否権

将来大臣は内閣に対する拒否権を有する
(理由: 選挙全体が若年層に有利になるような設計を回避できる)

③大臣はマニフェストとして100年後に向けた政策を挙げる

日本国憲法第11条

- 【基本的人権の普遍性、永久不可侵性、固有性】

国民は、すべての基本的人権の享有を妨げられない。この憲法が国民に保障する基本的人権は、侵すことのできない永久の権利として、現在及び**将来**の国民に与えられる。

ベルギーの政治哲学者Axel Gosseries教授の研究によると、憲法の中に将来世代の権利を謳っているのは、**ノルウェーとボリビアと日本**の3カ国しかなく、しかも日本が一番古い。

将来省設置に関しての問題点

- 日本国憲法において、将来世代に関しての記述が少ない(憲法第11条に少しのみ記載あり)
- 高齢者に対する差別
- 若者の判断力に疑問(本当に将来を考えているのか疑問)
- 能動的な政治等の学習がない
- そもそも将来世代が何を望んでいるか分からない

将来世代に対する配慮の可能性

- 直接的な欲望から観念的持続的な愛へと発展
- 死の認識による死後の世代に対する配慮

終わり

Q&A